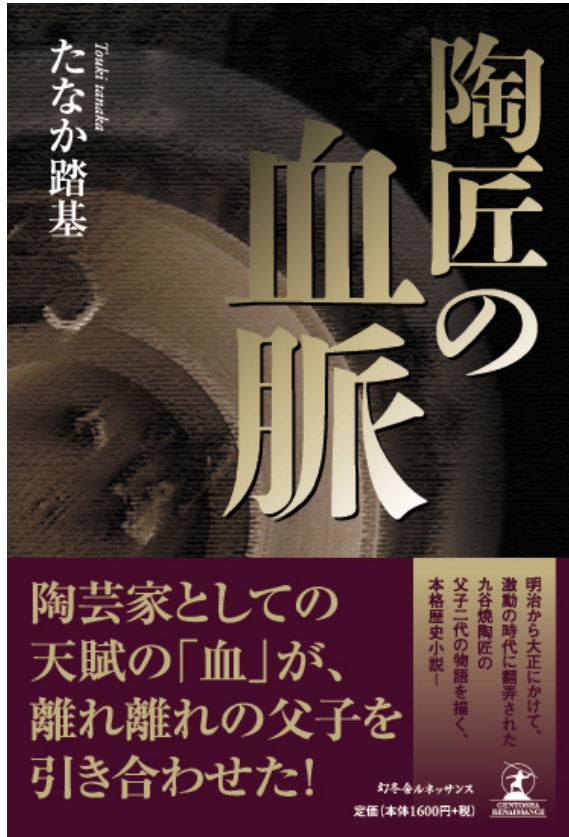


たなか踏基、最新作『陶匠の血脈』完成！

加賀・九谷焼陶匠の父子二代の物語を描いた本格歴史長編小説



陶芸家としての天賦の「血」が、離れ離れの父子を引き合わせた！

明治期を舞台に、天才陶工とその子の血脈を描いた歴史小説。恵まれない環境で生まれ育ちながらも、九谷焼の陶工としてめきめき頭角を表わす秦九左衛門。しかし、修業先の出戻り娘との間に息子・宗次郎をつくる。日露戦争勃発後、軍は美術工芸に類稀な才能を有する九左衛門を、露西亜にスパイとして送り込み、諜報活動をさせる。露西亜側に疑われた九左衛門は拷問により精神に異常をきたす。好青年に成長した宗次郎は、ある日、軍の極秘活動で精神に異常をきたした男の素性を耳にし、興味を惹かれて取材に訪れる。それが生まれて初めての、父・九左衛門との運命的な出会いであった。

四六判上製本（288 ページ）

定価（本体 1600 円 + 税）

ISBN978-4-7790-0528-2 C0093 ￥1600E

著者紹介 たなか踏基（たなか・とうき）

山形県山形市生まれ。埼玉県上尾市在住。長野県立松本深志高校・新潟大学工学部卒。日本化薬(株)で化学技術を専門とする。『雪』で京都大学新聞社第三回懸賞小説入選（選者 伊藤聖、野間宏）。主な著書に『進化する化学技術』（工業調査会）SCE-net 共同編集、『奇妙な喫茶店』（文芸社）『奇妙な猫たち』（同）『奇妙な受精卵』（幻冬舎ルネッサンス）『奇妙な羽衣伝説』（同）『七日市藩和蘭薬記』（同）。

注文書	160	幻冬舎ルネッサンス ISBN978-4-7790-0528-2
	1600	陶匠の血脈
		お客様欄（氏名・住所・連絡先）

TEL:03-5411-6710

:03-5411-6667